

「地域ケア会議について」

～地域支援調整会議を通じた地域づくり～

2019年2月8日

桑名市東部地域包括支援センター

CONTENTS

1. はじめに
2. 東部地域包括支援センターにおける地域ケア会議の実態
3. 実態から見た地域ケア会議3類型の傾向と特徴
4. 認知症の事例から地域支援調整会議を考察する
5. 今後の取り組み方針



1.はじめに

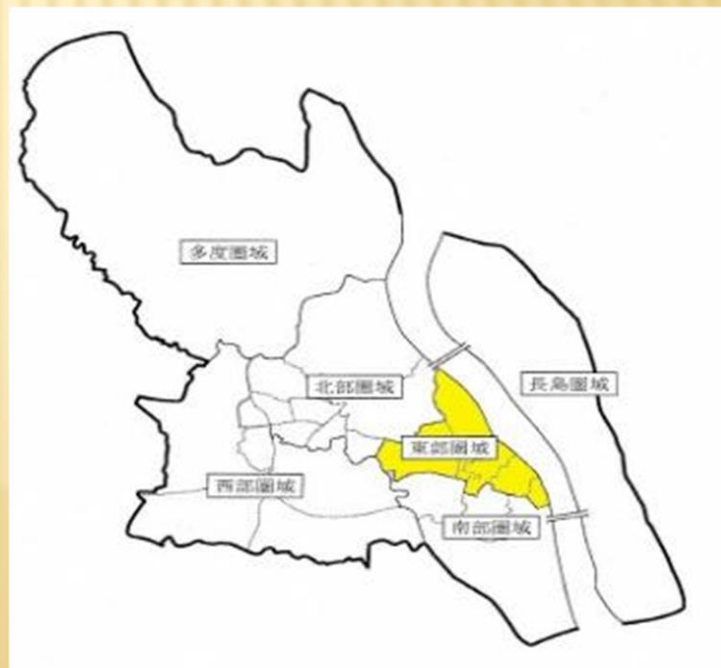
東部圏域の高齢化率

地区名	高齢化率	65歳以上	ランキング(29地区中)
立教	35.31%	1,267	2位
城東	34.26%	692	4位
精義	31.55%	1,401	11位
大成	25.41%	2,328	20位
修徳	21.09%	1,261	25位

桑名市全体人口 : 142,791人
65歳以上 : 36,553人
高齢化率 : 25.60%
H30.3現在

人口 : 25,190人
65歳以上 : 6,949人
高齢化率 : 29.52%

H30.3現在



地域ケア会議について

地域ケア会議は、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法。

【地域生活応援会議】

多職種協働でケアマネジメントを支援する為の会議

【ケアミーティング】

認定前の先立つ暫定的なサービス利用の為の会議

【地域支援調整会議】

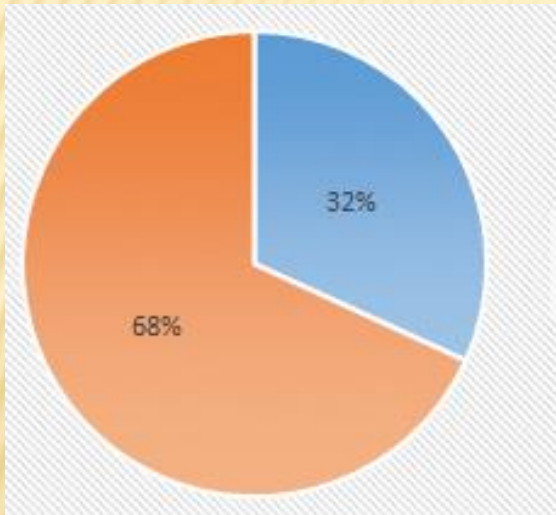
地域の高齢者世帯の困難事例解決の為の会議

2.東部地域包括支援センターにおける 地域ケア会議の実態

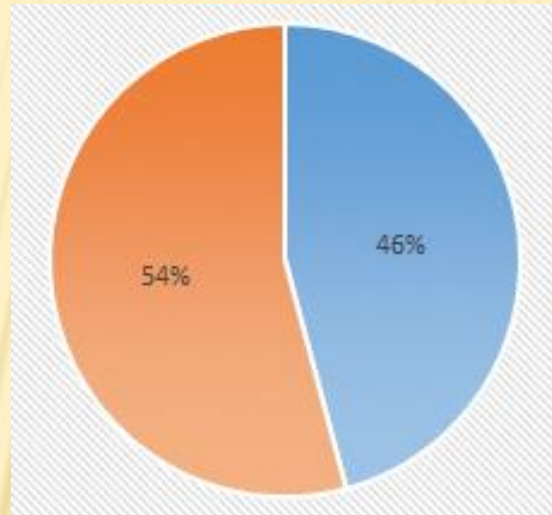
- ◆ 東部包括が携わった地域生活応援会議・ケアミーティング・地域支援調整会議の3類型を比較する。
(H30.4～12の集計データ)
- ◆ 抽出項目：「性別」「学区」「年齢」「世帯」「疾患」「主な課題」を各々比較する。
- ◆ 「主な課題」の項目は、厚生労働省通知の課題分析標準項目を活用。

地域ケア会議 3類型比較（性別）

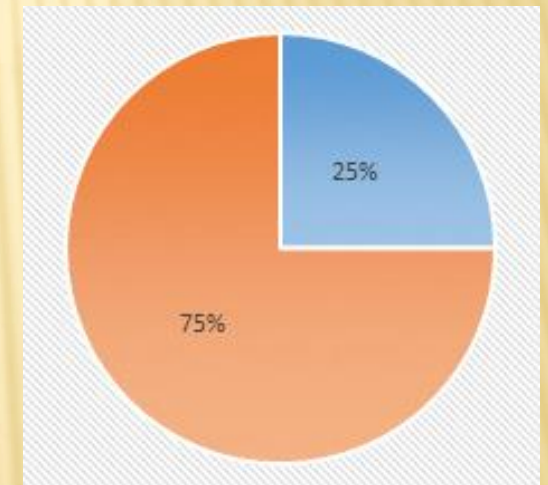
地域生活応援会議



ケアミーティング



地域支援調整会議



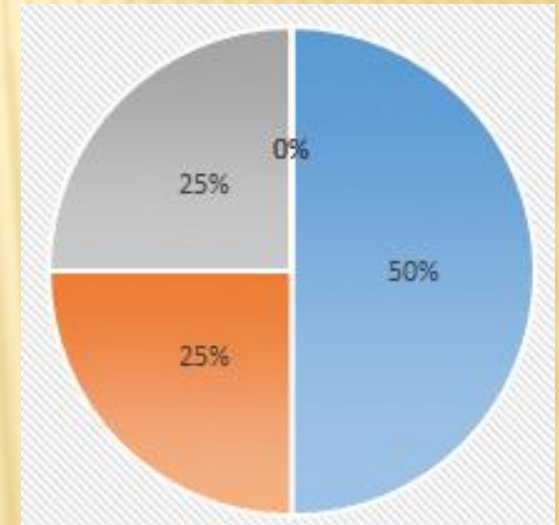
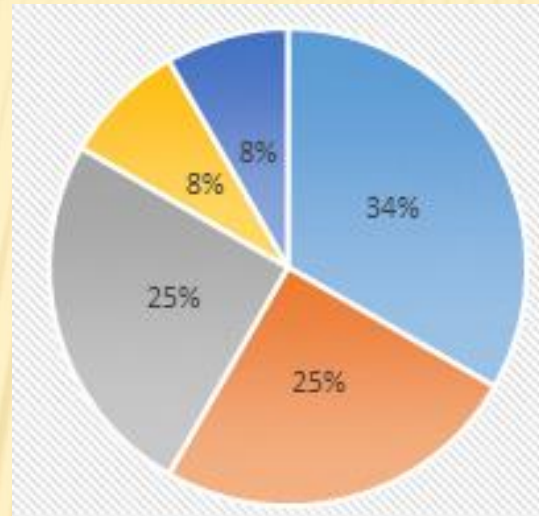
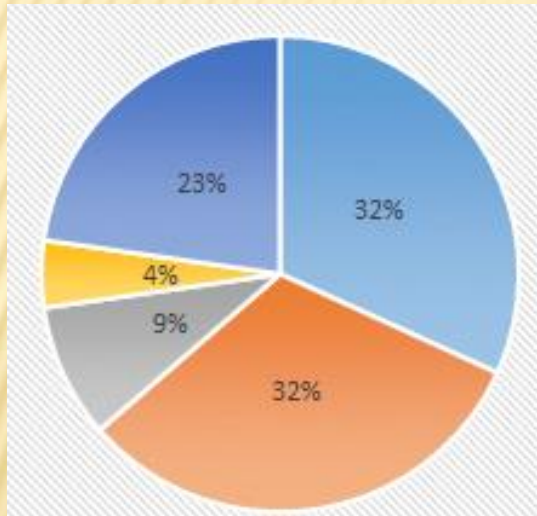
■ 男 ■ 女

地域ケア会議 3類型比較（学区）

地域生活応援会議

ケアミーティング

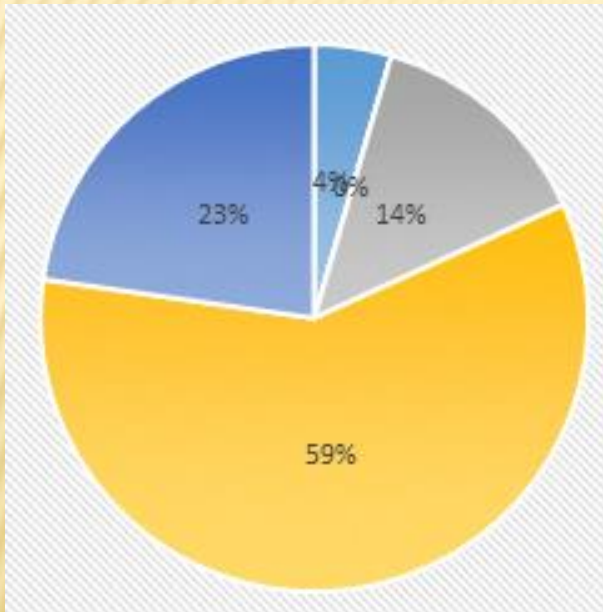
地域支援調整会議



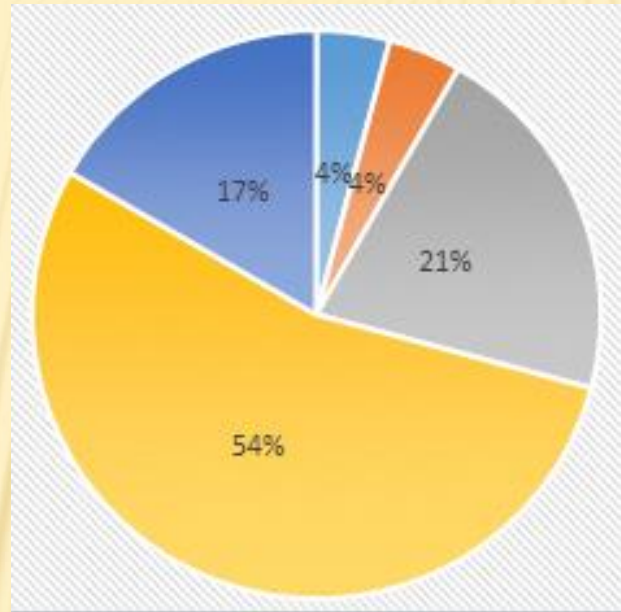
■ 大成 ■ 精義 ■ 立教 ■ 城東 ■ 修徳

地域ケア会議 3類型比較（年齢）

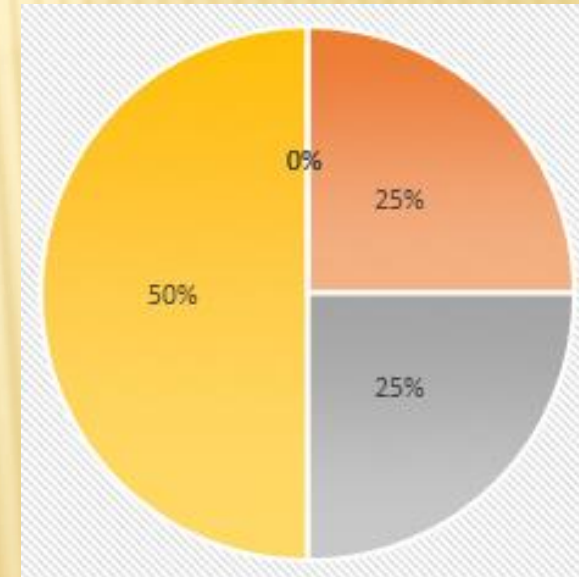
地域生活応援会議



ケアミーティング



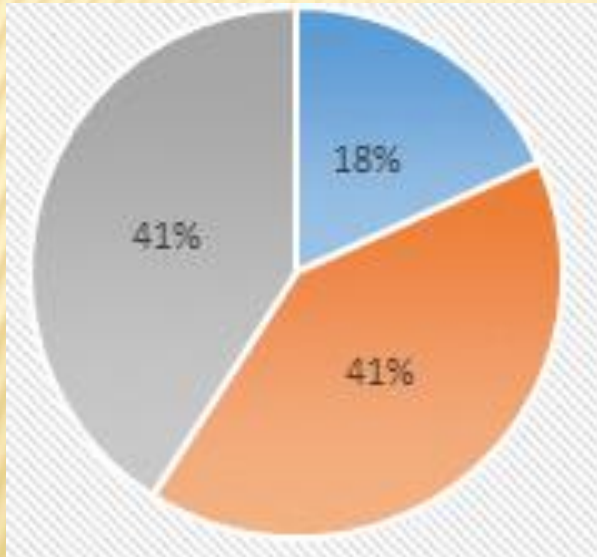
地域支援調整会議



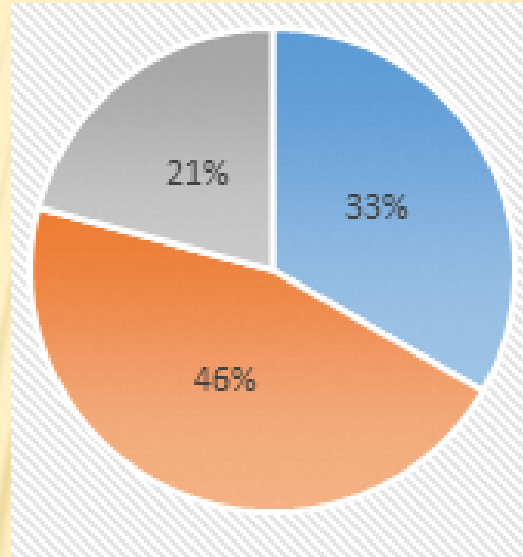
- 1. 65歳未満
- 2. 65～69歳
- 3. 70歳代
- 4. 80歳代
- 5. 90歳代以上

地域ケア会議 3類型比較（世帯）

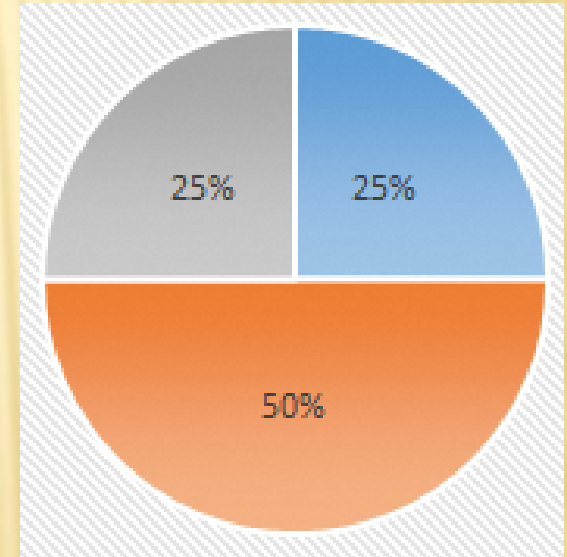
地域生活応援会議



ケアミーティング



地域支援調整会議



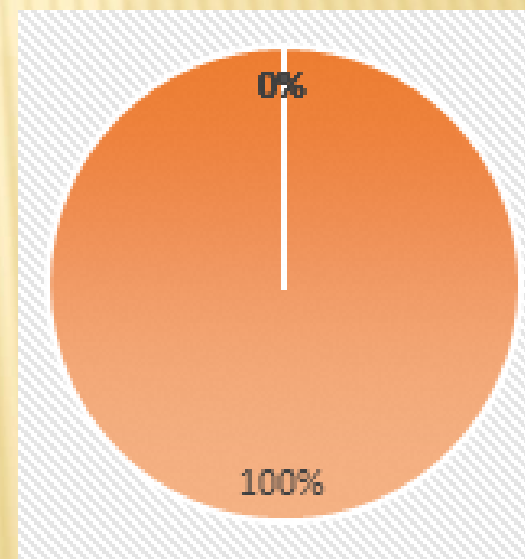
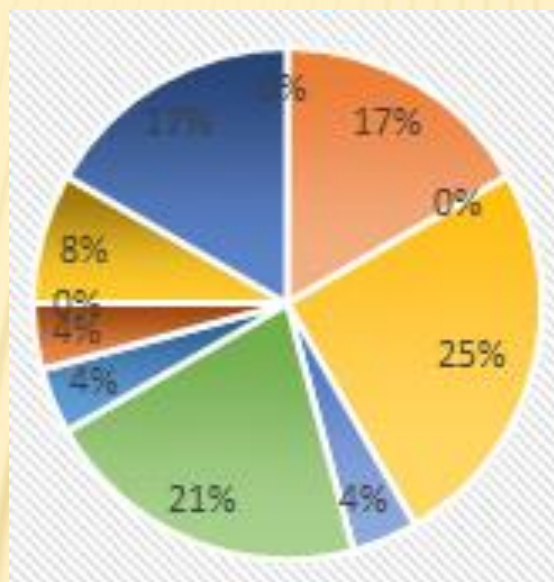
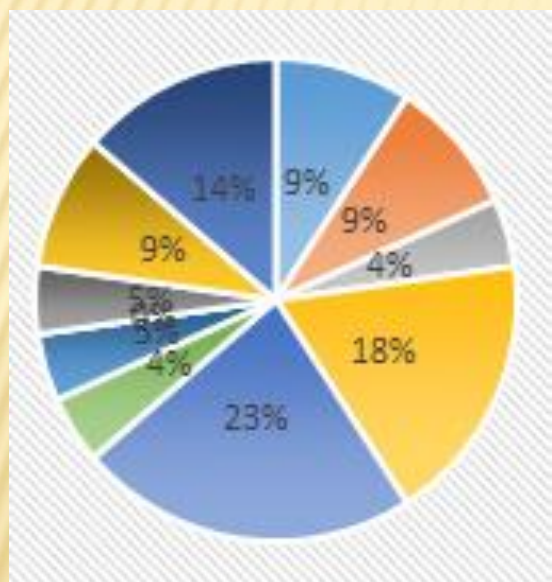
■ 高齢者のみ ■ 独居 ■ 家族同居

地域ケア会議 3類型比較（疾患）

地域生活応援会議

ケアミーティング

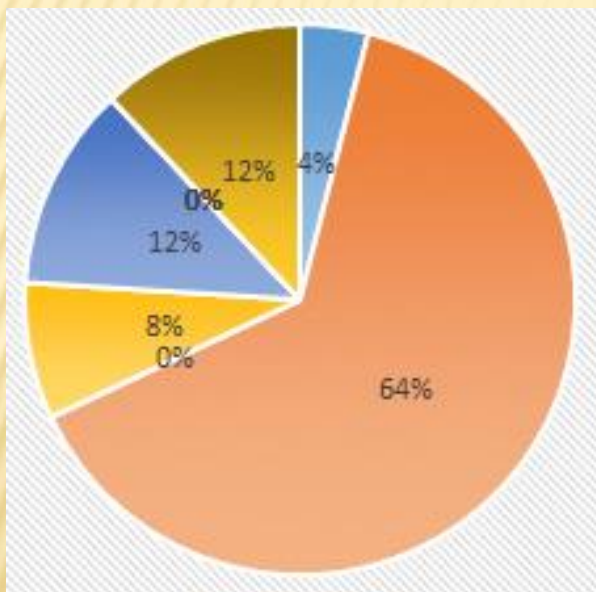
地域支援調整会議



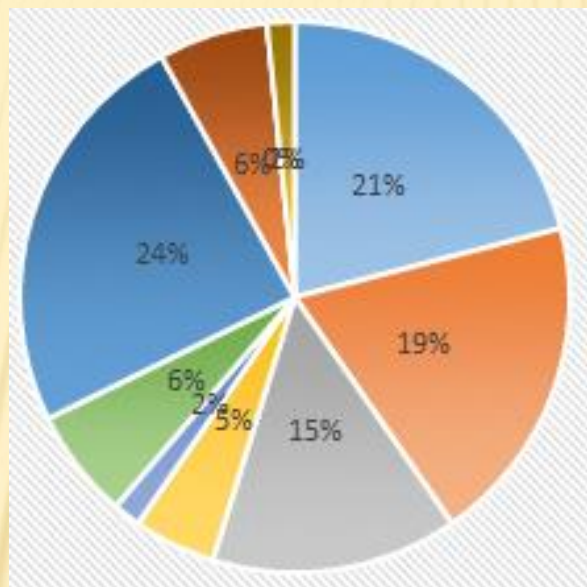
- | | | |
|------------|---------------|-----------|
| ■ 1.脳血管疾患 | ■ 2.認知症又は精神疾患 | ■ 3.衰弱 |
| ■ 4.骨折・転倒 | ■ 5.関節疾患 | ■ 6.心疾患 |
| ■ 7.パーキンソン | ■ 8.糖尿病 | ■ 9.呼吸器疾患 |
| ■ 10.悪性新生物 | ■ 11.その他 | |

地域ケア会議 3類型比較（主な課題）

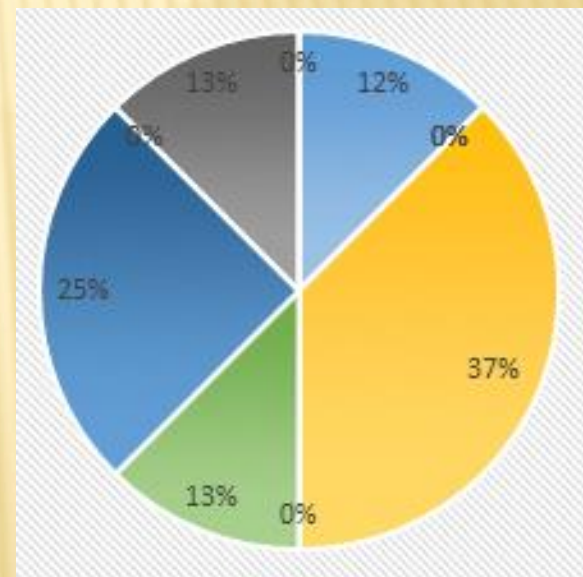
地域生活応援会議



ケアミーティング



地域支援調整会議



- 1.健康状態
- 2.ADL
- 3.IADL
- 4.認知(BPSD含む)
- 5.地域との関わり
- 6.お金に関する事
- 7.介護力
- 8.居住環境
- 9.虐待
- 10.その他

3. 実態から見た地域ケア会議 3 類型の傾向と特徴

ケース傾向と会議との関連性 その1

関連性高い◎ 関連性中立○ 関連性低い△

	地域生活応援会議	ケアミーティング	地域支援調整会議
認知症	△	○	◎
急性期疾患	○	◎	△
介護力	△	◎	○
課題の深刻度	△	○	◎
地域への影響	△	○	◎

ケース傾向と会議との関連性 その2

【地域生活応援会議】

- ADLに大きな影響を与える骨折、転倒、関節疾患が上位を占める。
- 要支援、事業対象者が会議の対象なので認知症疾患の方は少数。
- 世帯構成もケアミーティング、地域支援調整会議と比較して家族同居率が高い。

【ケアミーティング】

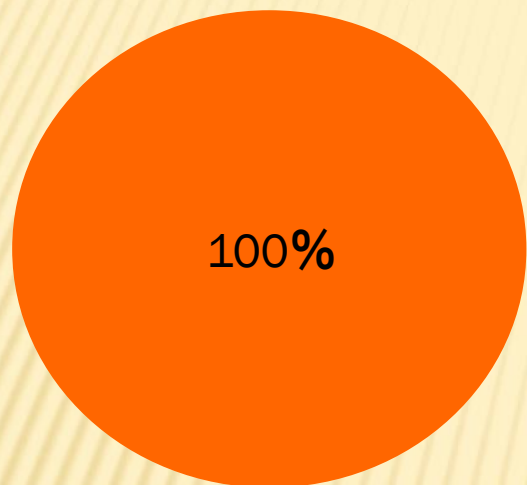
- 骨折、転倒など急性期疾患が最上位に来ており介護力に課題のあるケースが多い。
- 地域生活応援会議に比べて、家族同居率が低く独居世帯が一番多い。

【地域支援調整会議】

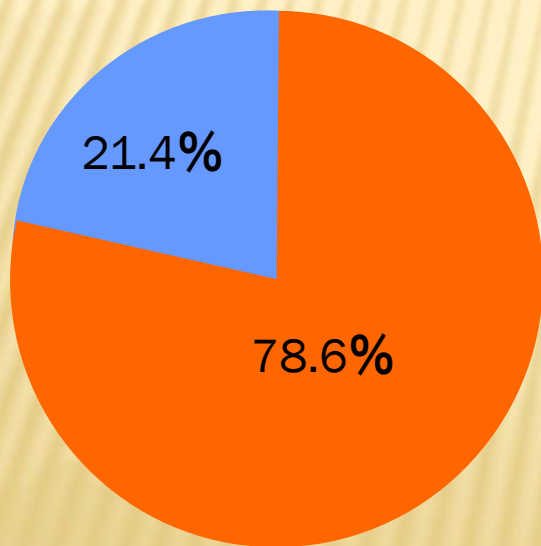
- すべてのケースで認知症（精神疾患含む）を抱えており、認知症の周辺症状が地域に影響を及ぼしている場合。
- また虐待ケースも含まれており、問題が深刻化しやすい。

補足：高齢者虐待と認知症の有無の関係

東部包括における虐待通報案件より
H30.4～12



養護者による被虐待高齢者の認知症の状況



- 認知症あり
- 認知症なし

地域づくりに直結する地域支援調整会議

地域ケア会議 3 類型の特徴

	地域生活応援会議	ケアミーティング	地域支援調整会議
関係機関の出席者	固定している	固定している	固定していない
地域関係者	出席できない	出席できない	出席できる
会議の対象者	要支援・事業対象者 且つサービス利用者 に限定	要介護認定申請者 でサービス利用者 に限定	制約はなし
会議開催時期	原則サービス利用前	サービス利用前か サービス利用直後	ケースの必要性に 応じていつでも可能

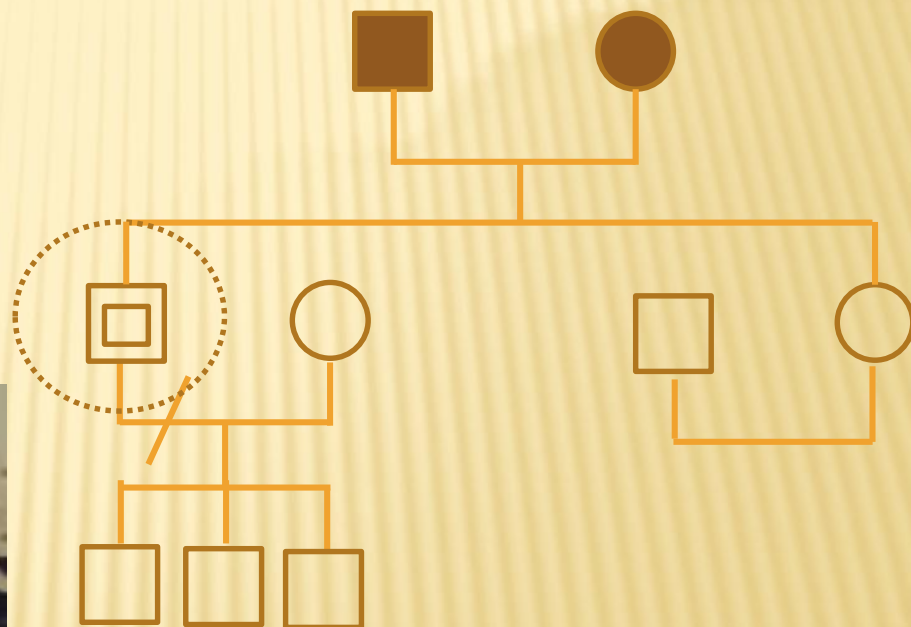


地域支援調整会議は、要介護認定の有無に関係なく、困難な課題を抱える対象者に対して、必要なタイミングで関係機関と地域関係者が話し合うことができる強みがある！

4.認知症の事例から地域支援調整会議を考察する

徘徊し金銭管理が難しくなったSさんを地域で支えるために

生まれ育った
この家が
ええわあ

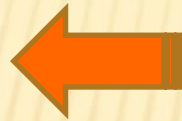


- ※ 70代後半の男性 ひとり暮らし
- ※ 認知症の中核症状はあるがADL, IADLはほぼ自立
- ※ 近隣に身寄りはないが、市外の妹夫婦からの支援がある

会議開催に至ったきっかけ その1



包括支援センター



民生委員



- ・当初は支援の介入が困難であったが、車で外出時に道に迷い自損事故したことを契機に、専門医の受診や小規模多機能サービスの利用につながった。

会議開催に至ったきっかけ その2

その後 家族が金銭管理をしたが



- ・ 民生委員や近隣住民、介護事業所なども心配する事が増えてきた。
- ・ Sさんは自宅での生活を強く望んでいたため、現状を共有し支援の方向性を話しあう為、地域関係者を交えて地域支援調整会議を開催した。

地域支援調整会議の出席者

地域関係者：民生委員、郵便局員、
ささえあい支援事業のメンバー

専門職：小規模多機能ケアマネジャー
地域包括支援センター職員
(認知症初期集中支援チーム員)

家族：妹

公的機関：市職員



話し合いの内容 ①課題の整理

【Sさんの強み】

認知症は進行してきているが、コンビニ・寺町商店街に行き買い物が出来る状態である。

親族、近隣住民から日常生活上（掃除、洗濯、金銭管理、ゴミの分別、ゴミ出し等）の支援がある。

【課題】

《金銭面》

金銭管理が出来ず、通帳の残高がなくなると何度も郵便局に足を運び不安を訴える。

《徘徊》

見当識障害により外出先から戻れなくなり、徘徊につながる恐れが高い。



②対応策の検討・役割分担

【金銭面】

- 1.郵便局では本人に担当職員がついて個別対応、頻回な場合は小規模多機能へ連絡する。
- 2.妹が金銭管理をサポートして、小規模多機能と連携をとる。

【徘徊】

- 1.本人の外出時、ささえあい支援事業のメンバーが遭遇した時は見守りや声掛けをする。緊急性を感じたら小規模多機能へ連絡し、小規模多機能施設から包括へ連絡する。
- 2.民生委員は本人宅の近隣であるため、外出時には本人の動向を見守る。
- 3.徘徊SOS緊急ネットワーク（警察・包括等の協力機関）の活用。

③地域ケア会議の結果 ※関係者の声・成果

(関係者の声)

- ・ 自宅で暮らすためには、介護サービスだけではなく地域と連携することが大切だと思った
- ・ ケアマネとして一人で抱え込むことなく、ヘルプを出せるところがあることを知り気が楽になった
- ・ 前からSさんのことは気にはなっていたが連携方法が分かった
- ・ 関わっている人のことがよく分かった

(成果)

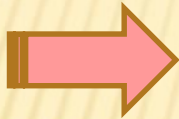
- ・ 会議をきっかけに、ささえあい支援事業のメンバーの認知症勉強会や徘徊模擬訓練の開催につながり、地域の支援力が向上した



東部包括におけるチームアプローチ

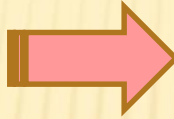
包括

総合相談



包括

認知症
初期集中
支援チーム員



小規模多機能



地域

包括

ささえあい支援事業

認知症地域
支援推進員



認知症で困って
いるケース
だわ！



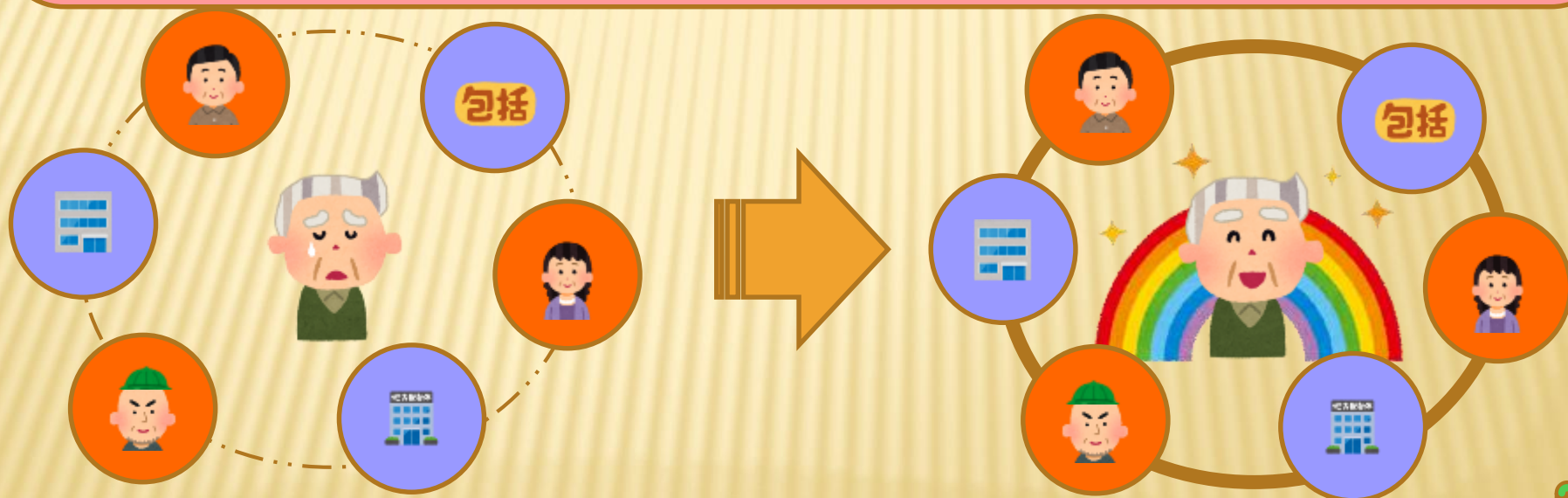
じゃあ、
初期支援チーム
の出番だね！

認知症の勉強会や
徘徊模擬訓練を
しましょう！



考察

- ・ 点や線であったフォーマル・インフォーマルサービスが会議を通してつながる事ができ、本人を取り巻く支援の輪が作られた事で見守り体制が形成出来た。
- ・ 地域のネットワークを高める機会となった。



地域支援調整会議の機能

4.今後の取り組み方針

H31年度

ネットワーク機能発揮のための土台づくり

- 1.民生委員定例会での意見交換・情報収集
- 2.自治会へのアプローチ（包括普及、意見交換）
- 3.CM事業所等との事例検討会の企画及び開催
- 4.総合相談での関係者との連携





1. つながり強化

2. 個別ニーズの把握

3. 地域課題の把握



課題困難な事例は、地域関係者も交えて地域支援調整会議を積極的に活用



地域支援調整会議を通じて地域ネットワークの強化



第7期



情報を統合し学区単位で地域課題を分析
(ニーズの関連づけ)

実態調査データ

ケアミーティング
データ

桑名市ニーズ調査
データ

総合相談
データ

民生委員定例会情報

地域支援調整会議
データ

地域生活応援会議
データ





分析した地域課題をもとに、東部圏域 の1学区でモデル的に圏域レベルの 地域ケア会議を開催

- 課題解決方法の確立
- 新たな資源開発の検討と役割分担
- 地域づくりのあり方を検討





ご清聴
ありがとうございました



To be continued ■ ■ ■